



## <開催趣旨>

地域の自然を守るには、まず現状を把握することが必要です。自然を把握する調査には、主に行政や研究者や NGO などが行う大規模・広域的な調査と、地域の市民が地域密着で行う調査の二通りがあります。どちらも大切なデータとなりますが、現在、市民調査の結果が行政の計画などに活用されることは少ないため、今後どのように生物多様性地域戦略に反映していけるか、つまり市民が地域戦略などの計画づくりに参加することができるのか大きな課題となっています。

フォーラムでは、大規模・広域調査と市民調査それぞれの特徴や意味を掘り下げ、「市民と行政が対話しながらつくり上げていく生物多様性地域戦略」につながる第一歩としたいと思います。

第1部では、調査にかかわる研究者や NGO スタッフなどが、さまざまな取り組みの実例を紹介します。

第2部では、来場者も参加してグループディスカッションを行い、「地域を知るコツ」をともに考えます。

## <プログラム>

13:00 開催あいさつ・司会進行(日本自然保護協会・安部真理子)

13:05 生物多様性地域戦略とは(環境省那覇自然環境事務所次長・柴田泰邦)

13:15 第1部：話題提供「地域を知るコトで見えてくる」

(1)「沖縄島のサンゴ礁の現状(沖縄県自然保護課課長・富永千尋)」

平成21年度サンゴ礁資源情報整備事業の結果とそれに基づく保全計画を紹介。

(2)「久米島応援プロジェクトによる久米島での活動事例」(WWF ジャパン・権田雅之)

WWF ジャパンが作成した南西諸島マップや久米島で展開しているプロジェクトの紹介。

(3)「地元の住民自身がモニタリングをすることの重要性ー把握→比較→展望、数字(データ)

から言葉(認識)への脱却ー」(琉球大学／沖縄県サンゴ礁保全推進協議会会長・中野義勝)

地域の人たちが自分で調査データを取ることを重要性を、幾つかのコミュニティを例に紹介。

(4)「市民調査で自分たちの地域づくり」(日本自然保護協会事務局長・開発法子)

科学・歴史・文化などのさまざまな市民調査の紹介。市民調査から保全計画作りへ。

14:45 第2部：グループディスカッション「地域を知るコツ！を考えよう」

(ファシリテーター：しかたに自然案内・鹿谷麻夕)

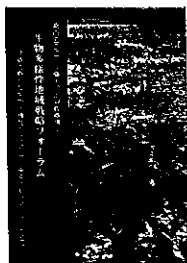
1テーブル5～6名のグループを作り、当日配布する「地域を知るコツ！アンケート」をもとにディスカッション。

16:55 閉会の挨拶(沖縄大学／沖縄環境ネットワーク世話人・桜井国俊)

17:00 終了

.....  
沖縄大学地域研究所ブックレット

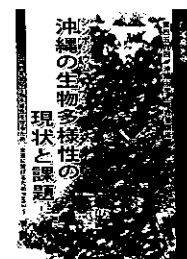
## 沖縄大学土曜教養講座 ◆生物多様性シリーズ◆ 定価 500 円 (税込)



### ブックレット9 生物多様性地域戦略フォーラム

ー 沖縄の豊かな生物多様性を守るため、未来に繋げるため Part 1 ー

WWF ジャパンの支援(2009年度WWFエコ・パートナーズ事業)を受けて、沖縄・生物多様性市民ネットワークが主催した第453回沖縄大学土曜教養講座でのフォーラムの記録集。2008年に制定された「生物多様性基本法」に基づく「生物多様性地域戦略」を沖縄の視点で、市民の視点で検討する。



### ブックレット10 沖縄の生物多様性の現状と課題

ー 沖縄の豊かな生物多様性を守るため、未来に繋げるため Part 2 ー

2010年は国連の国際生物多様性年。名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に先駆けて、沖縄の自然環境や生物多様性をめぐる矛盾、その保全や持続的活用に焦点をあて、泡瀬干潟ややんばるの森林、米軍基地建設で環境の危機に直面する高江、辺野古/大浦湾などの現状と課題を問い直す。